

平成30年10月27日(土)
日光道中粕壁宿「400年の歴史」を歩こう

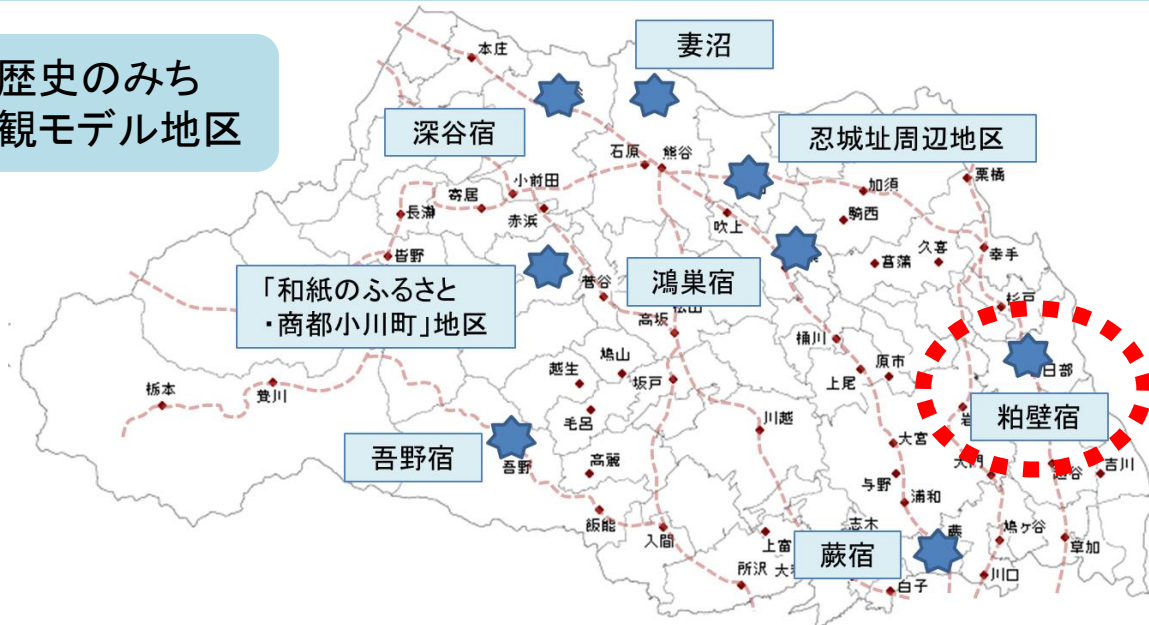


歴史のみち広域景観形成プロジェクト

○ 旧街道や旧宿場町などに埋もれている歴史的景観資源を保全・活用し、広域景観形成を進めるプロジェクト。

- 地域景観資源発掘調査
- 歴史のみち景観モデル地区の選定
- 講演会、まち歩きなどの啓発活動
- 景観重要建造物の指定

歴史のみち 景観モデル地区



粕壁宿の概要



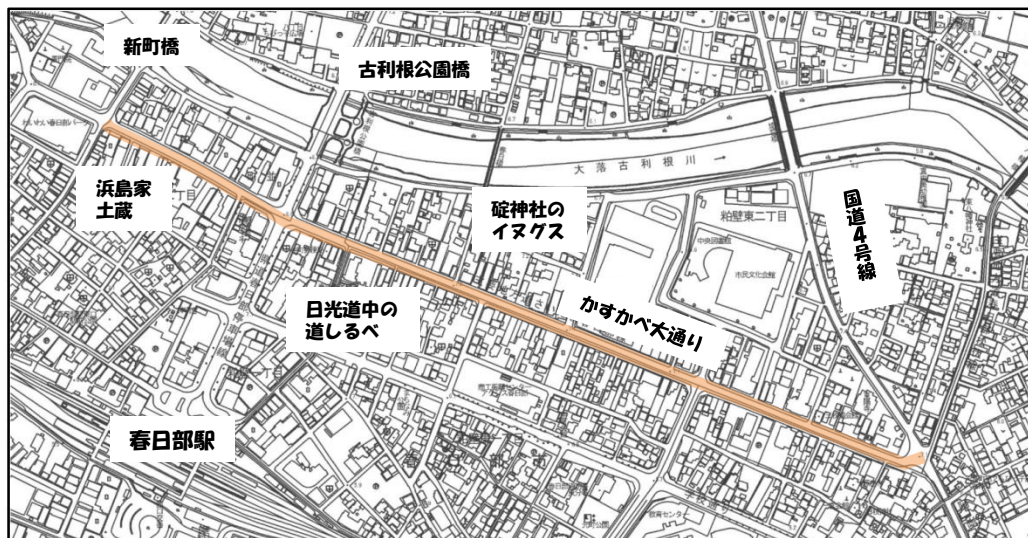
地区の概要

○交通

東武伊勢崎線・野田線春日部駅東口下車
徒歩5分「かすかべ大通り」周辺

○なりたち

・江戸時代に日光道中の宿場町として発展
・参勤交代の大名や、松尾芭蕉などの多くの旅人が休泊した。



景観資源

浜島家住宅土蔵



明治時代前期に建てられたと考えられ、国の登録有形文化財に登録されています。

東屋田村本店



蔵の前には、日光、江戸、岩槻の三方向が刻まれた日光道中の道しるべがあります。

田村荒物店



宿場町によくみられる、街道沿いの間口が狭く奥行が長い短冊状の敷地となっています。

大落古利根川

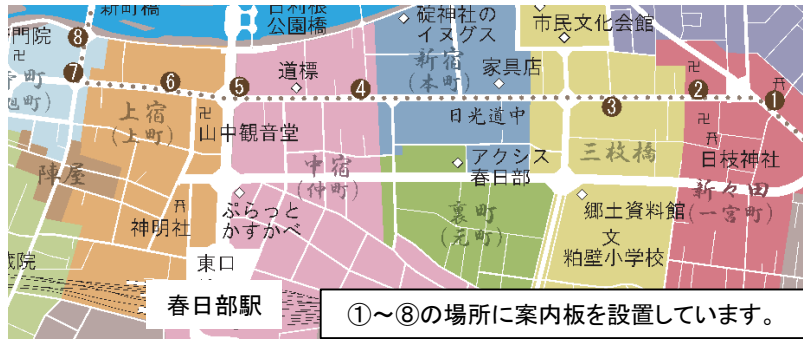


粕壁宿は、宿場に沿って流れる大落古利根川の舟運を利用した米や麦などの集積場でした。

粕壁宿の取組

— まち歩きを楽しんで頂くために —

○ 名所案内板の設置



○ 宿のイメージイラスト入り変電ボックス

電線地中化に伴い地上に設置された変電ボックスには、江戸時代に粕壁宿を構成していた10の町をイメージしたイラストが描かれています。



歩道側と車道側でイラストが異なるため、二度楽しめる構成になっています

左：歩道側

右：車道側



○ 景観資源整備事業

県指定天然記念物「碓神社のイヌグス」の将来にわたる健全な育成と保全、景観資源としての魅力創出のため、平成29年度に敷地の整備を行いました。現在は、地区住民による草刈などの維持管理が行われています。



敷地内の木の剪定・伐採



出入り口及び柵の整備



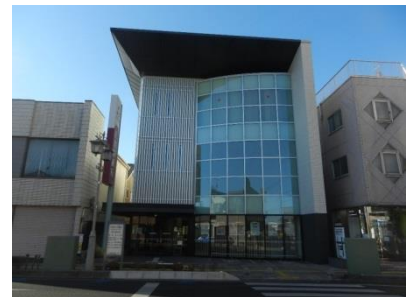
説明看板のリニューアル

— これからの景観づくりのために —

○ 日本工業大学と連携し、景観・賑わいづくりに関する研究



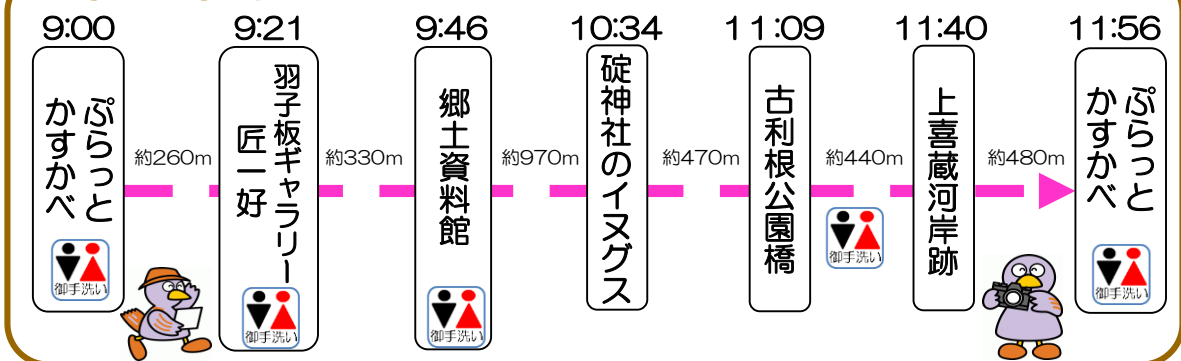
○ 地区の景観配慮建築物に景観賞



～まち歩きコースの御案内～



予定時刻



※ 記載の時間は、まち歩きの所要時間の目安です。

かすかべ案内人の会
春日部市 都市計画課
埼玉県 田園都市づくり課

まち歩きは3者共同での取り組みです！